



隊友四街道支部便り



令和5年11月号 支部事務局
副支部長：奥村（090-8728-7838）

**令和6年度四街道支部総会を来年1月に開催します。
新たな体制になって初の総会です。多くの会員皆様の出席をお願い致します！**



四街道市文化センター

- 実施日：令和6年1月21日（土）1030～
- 場所：四街道市文化センター203会議室等
- 実施時程：1030～1110 支部総会
- 1120～1220 防衛講話
- 講師：前防衛省人事教育局長 町田一仁様
- 1240～1410 懇親会

○総会では今後の支部事業の新たな考え方及び予定等を審議するとともに、懇親会では来賓のご挨拶に加え新入会員を紹介致します。**特に新入会員の皆様のご出席をお願い致します！**

**※総会当日、0900～会場準備等を実施します。
多くのご支援を期待しております。**

四街道市憲法改正推進市民の会5周年記念
「櫻井よしこ講演会」を協賛



10月28日（土）四街道市文化センターにジャーナリストの櫻井よしこ氏をお招きした講演会を四街道支部は協賛しました。ウクライナ戦争及びハマスが突然イスラエルにテロ攻撃を仕掛けたパレスチナ紛争、日本は岸田首相が双方に自制を求めると表明したがそれは国際的には異常G7でも日本以外の国だけで協議しており不安。その状況下、「ユーラシア大陸の中心部を制するものは世界をコントロールするという地政学、今は中国か？「平和を愛する諸国民??なる憲法は一日も早く改正しなければならない中国人の記憶では日本軍は強い、だから歴史を塗り替えようとしている。等々、まさに「目からうろこ」の正論を力強く訴求されており、四街道支部としてもこのような現状を広く国民、市民に理解して頂く努力が必要であることを感じたところです。



ヒゲの隊長
参議院議員佐藤正久メルマガ

【イスラエル・ハマス軍事衝突を巡る
中国とイランの動き】

10月15日、イランの外務大臣はイスラエルと支援諸国に対し、「ガザでの残虐行為を止めないとイランは単なる傍観者でいられなくなる」と話し、条件次第で参戦する可能性を示唆しました。中国の王毅外相は10月14日、サウジアラビアのファイサル外務大臣と電話会談をして「イスラエルの行為は自衛の範囲を超えている。ガザへの懲罰をやめるべきだ」と話し、イスラエルを批判しています。イランも賢いので戦闘に入ることはないと思います、恐らくやったとしてもレバノンのヒズボラ、あるいはシリアの一部の武装勢力を使うということになるかと思っています。中国の動きはかなり深刻です。最近イスラエルや周辺アラブ諸国を回ってきた専門家によれば、アメリカのイスラエルに対する過度の肩入れに対し、アラブ社会とアメリカの分断がイラク戦争の時より広がった感があると言われています。流れをうまくつかんでいるのがイラン、中国、ロシアです。彼らはアラブ寄りの姿勢を示すことでアラブを反米グループに引き込みつつあります。つまり中国がグローバルサウスのトップとして有利な環境になっている。非常に深刻だと思います。（11/1配信メルマガ抜粋）

皆様へのご連絡とお願い！

★支部の地区担当理事の皆さんへ

・毎月の隊友新聞の宅配に感謝申し上げます。年内には分担金をお支払いし受領印を頂く予定ですが、直接頂けなかった場合は支払書（支払証明）をもって代えたいと思います。引き続きのご協力方宜しく申し上げます。

★千葉県の大規模中央備蓄倉庫（市原市）について（大規模災害等における協定に基づく隊友会の役割・活動）

・11月6日に支部長、副支部長が県防災担当と調整。会員各位の協力が不可欠、細部は別途説明致します。

次回の役員会：12月17日（日）1000～1100 ※大日堂橋台区自治会館